

育成センターだより

令和6年度
No. 431

長野市少年育成センター
TEL. 228-8547
FAX. 224-0109

有害環境浄化活動強化月間（2月）
春のあんしんネット・新学期一斉行動（2月～5月）

年度末の育成活動

三月になると道路に教習車が多く見られるようになります。若葉マークの車も増えてきます。そのため三月は、交通安全に気を付ける時期となります。

車に若葉マークがあれば、周りの車も気を付けます。もちろん、自身もその自覚をもって運転します。

また、三月になると、卒業・就職・進学・進級に合わせて、青少年が初めて自分のスマートフォンを手にするようになります。特に、高校生になるとほぼ全員が手にするようになります。しかし、誰も若葉マークは付けません。

スマートフォンを持っていく人やこれから使う人もスマートフォンをこれからどう使っていくか、この時期に家族と共に話し合ってみてはいかがでしょうか。



育成活動の重点

★ ペアレンタルコントロールを活用しよう

- ① フィルタリング
- ② 時間管理機能・課金制限機能等の利用促進
- ③ 家庭内ルールづくりの促進

★ 出会いと別れ大切に

卒業、就職、進学、進級と環境が変わる時期。別れを大切に。出会いに感謝

★ 不審電話・不審な人の訪問、甘い誘いに要注意

巻きこまれない「事前の対策」家庭・地域が意識して



あいさつを通して 子どもの心を育てる

朝陽小学校長 水上 淳一

近年の少子化の加速による児童数減少に加え、SNSの利用拡大による子ども同士の直接的な交流の機会が少なくなってきたこととから、子どもたちの対人コミュニケーションの希薄化が危惧されます。こうした現状を踏まえ、これからの複雑な未来を生き抜いていく人材育成のために、心身ともに健全な子どもを育てていくことは私たち大人の重要な責務でもあります。本校ではあいさつを通して子どもの心を育てることを大切にしていきます。私自身、毎朝校門に立って登校してくる子どもたち一人一人にあいさつをして迎えています。元氣よくあいさつができる子どもいれば、俯いたまま通り過ぎていく子どももいます。そんな子どもたちの姿に触れながら、常日頃からあいさつの意味や心地よさについて校長講話や職員会議の折に子どもたちや先生方に伝えてきています。そんな日々の小さな努力の積み重ねが子どもたちの良い姿に結びついているのを感じた出来事がありました。

十月に三年生の社会見学の見学率で消防署に見学に行った時のことです。案内と説明をしてくださった消防署員さんが私を呼び止めてこんな話をされました。「子どもさんたちはあいさつが気持ちよくてとてもしっかりとお話を聞いてくれますね。説明をしていてもなかなか静かに聞けなかったり他のものに目移りしてしまったりすることがよくありますが、朝陽小のお子さんには本当によく聞いていて質問もたくさん出してきて、とてもありがたいです。」あえて呼び止められてお話しされるくらいなので、よほど子どもたちの姿が好印象だったのでしょうか。とてもうれしい言葉でした。

また、朝陽地区で行われた社会福祉大会で地域の皆様方と語る機会がありました。それぞれの地域の皆様が子どもたちの様子を話されるときに「よくあいさつをしてくれる」「子どもたちの元氣な姿にこっちも元氣をもらえる」など、子どもたちのよい姿がたくさんあがってきていました。朝陽地区全体で子どもたちがとてもよい印象で受け止められていると感じました。

子どもたちが学校の外でもこうやって関わってくださる方々を幸せな気持ちにしてくれていることがとても誇らしく、素直でやさしい子どもたちを育ててくださっている先生方や保護者の皆様、それを温かく見守り支えてくださっている地域の皆様方に感謝したいと思います。

あいさつは犯罪の抑止力にもなるそうです。あいさつをすることで悪いことをしようとする雰囲気を作らせない効果があり、日頃からあいさつが交わされる街や地域は、不審者による盗難などの犯罪が少ないと言われます。こうした環境づくりが健全な子ども心の育成につながることを信じて、これからも小さな努力を続けていきたいと思えます。

青少年健全育成・巡回指導と携わって

三輪地区住民自治協議会 公民館部会長
三輪地区少年育成委員会代表 金井 信幸

私が居住する三輪地区は、住民による地域行政としては、10地区で構成する三輪地区住民自治協議会で運営されています（令和7年4月からは、泉町が返目と合併し9地区）。各町から1名ずつ少年育成委員さんが定期的に集まり、三輪地区少年育成委員会として地域の見守り活動に携わっています。

この三輪地区は、世帯数が約6700世帯あり、住宅地とともに、学校・病院・スーパー・コンビニ等が適度に備わった居住環境としては住みやすい地域と言えると思います。一方で、他地域同様、少子高齢化がかなり進んでおり、また空き家も多く点在している状況です。このような環境の中で、私たち少年育成委員は、長野市少年育成センターの職員の方から毎年、巡回指導の心得や実践のレクチャーを受けながら、地域の安全や子どもたちへの健全育成の役割を担う活動を行っているところです。

広い三輪地区を巡回することはなかなか大変ですが、公園やスーパー・コンビニ等を丁寧に巡回することによって、地域における生活環境を浄化するとともに、地域住民相互のコミュニケーションを一層広げていくことに貢献できれば、少年育成委員として各々がやりがいを感じるのではないかと思います。この地域は一般居住の住民の他、三輪交番があり、また各種商店会があるので、多くの地域関係者が連携して町の運営や行事の企画を率先して行っています。そのような多くの方の協力を頂きながら、少年育成・巡回指導も滞りなく推進できていると思います。

また、先述の通り、住民の高齢化が進行している中、お年寄りへの見守りや声かけも重要な活動のひとつとなっています。独居老人の世帯へのサポートは民生委員さんの役割ではありますが、ひとごとではなく地域住民だれもが、自分のこととして捉えることが必要ではないかと思っています。



本郷駅の駐輪場の巡回

今後の三輪地区の少年育成・巡回指導の活動の中での課題としては、委員会の組織運営にあると思います。毎年委員が交代する地区もあれば、委員のなり手が少ないため、長年

同じ人が委員として携わって、地区の他の係を兼務する方もいる状況です。この活動の専門性を高めるには、ある程度任期を確定しながら各委員が経験を積み重ねて頂き、スムーズに引き継いでいける状態にする必要があります。

地域の環境保全と青少年の健全育成の推進のために、各方面の協力を得ながら、委員会として鋭意努力していきたいと思います。

青少年健全育成のための巡回指導・環境浄化活動について

※愛の声かけ

- ①声かけは笑顔の挨拶から
- ②声かけから心が通い合う
- ③ユーモアは心を開く潤滑油
- ④同じ目線で安心感
- ⑤お説教は逆効果
- ⑥やさしなればお互いに気持ちよく



住民自治協議会による巡回活動

巡回指導活動は、青少年が集まりやすい場所などを重点的に巡回して、非行を未然に防ぐための活動です。環境浄化活動は、青少年の健全育成を阻害し、非行の誘因となるような有害環境を浄化するための活動です。

巡回指導・環境浄化活動のためのQ&A

一 巡回指導はどのようなしたらよいのですか。

○街頭の見回り活動を中心とし、同時に※「愛の声かけ」をお願いします。

○書類・酒類・タバコ販売店（コンビニエンスストア）等では、有害環境の浄化への理解と協力について啓発活動も行えると望ましいです。

○腕章やタスキ・名札等について、必要な場合は各住民自治協議会で準備をお願いします。

二 どんな場所を巡回したらよいのですか。

○コンビニエンスストア・書店・量販店・カラオケ店・遊技場・公園・学校・児童館・交番等地域の実状に応じた場所を巡回することをお勧めします。

三 実施回数と実施時間はどのくらいがよいでしょうか。

○回数や時間は、それぞれの地区の実状に応じて実施してください。



少年育成センターによる環境浄化活動（立入調査）

春のあんしんネット・新学期一斉行動(2月~5月)

国などでは、多くの青少年が初めて自分のスマートフォン等を手にする卒業・就職・進学・進級の時期に、ネット接続機器やサービスを提供する事業者と保護者、学校関係者が連携、協力し、啓発活動を集中的に展開します。

(各庁のピックアップコンテンツ)

・フィルタリング設定を家庭で考えましょう(子ども家庭庁)

・インターネット上の人権侵害をなくそう(法務省)

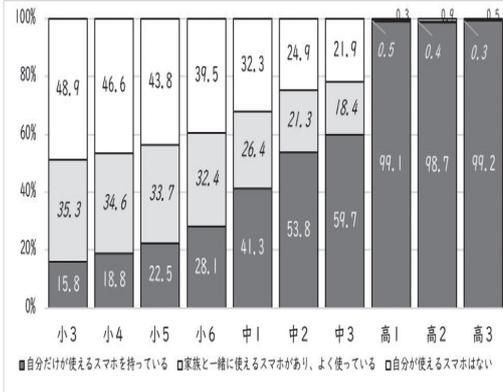
・情報モラル教育ポータルサイト(文科省)

・闇バイトの危険性(警察庁)

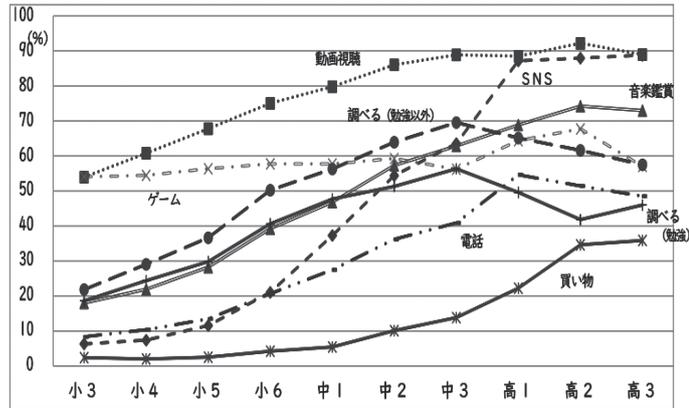
・グラフ①は「子どもとメディア信州」が令和4年に実施した長野県内の学校の調査結果です。

■進学・進級とともに所有率が上がります。小学生は家族と一緒に使用している割合が多く、高校生はほぼ全員が自分のスマホを持ちます。

グラフ① スマホ所有率



グラフ② スマホの用途



■青少年の利用状況を知っていたとき、子ども達の段階に応じたご指導をお願いいたします。「春のあんしんネット・新学期一斉行動」が、より安心・安全な使い方につながるよいきっかけとなればと期待します。

■全世代で動画視聴・ゲームが人気です。中学生はどの項目も右肩上がり、特にSNS(ライン、YouTube、X、ティックトックなど)が急増します。高校生はSNSが動画視聴とトップに並びます。買い物も増え、使い方が多様になることも高校生の特徴です。

少年育成センター出前講座
スマホSNSのトラブル・
犯罪被害防止の啓発

「中学生が出演する啓発動画」と「パワーポイントによるプレゼン」を用い、トラブルや犯罪被害・加害の視点から使い方について注意を呼び掛けていきます。



■青少年、保護者、学校や育成関係者等を対象にお話しさせていただきますのでご相談ください。
■プロジェクター、パソコン、スクリーン、マイク、コード等が会場にない場合は持参します。
■事前に会場に伺い、扱ってほしい内容を確認し、当日のプランを共に考えて講座に臨んでいます。
■啓発資料(国、県、警察など)の配布、依存チェックシートの活用なども併せて行っています。

主な啓発内容

- 個人情報流失に注意、写真は要注意
- ネット知り合った人に直接会わない
- 詐欺に注意、課金は家の人に相談
- ネットいじめ、誹謗・中傷は決してしない
- 依存症、健康被害、油断しない
- 家庭のルール、フィルタリングも
- ひとりで悩まない、必ず相談を

受講者の感想

(中学生)
わたしは結構スマホを使う人間なので、今回のことで改めて気をつけたいところはないかと思いましたが、特に写真の投稿は気をつけたいです。またLINEなどの文章のすれ違いも割と経験したことがあるので、よく読みなおすこと、伝わる表現を選ぶことを意識したいです。

(中学生)
講演を聴いて今までスマホの危険性については理解しているつもりでしたが、今回もう一度再確認ができました。むやみに写真をアップしたり、ネットで知り合った人と現実で関わりを持たないようにしたいと思います。ネットいじめなどの加害者にならないためにも送信する前に、もう一度読み直す習慣をつけようと思います。

出前講座の申込み

長野市ホームページから少年育成センターへのQRコードから入れます。



(少年育成センター)

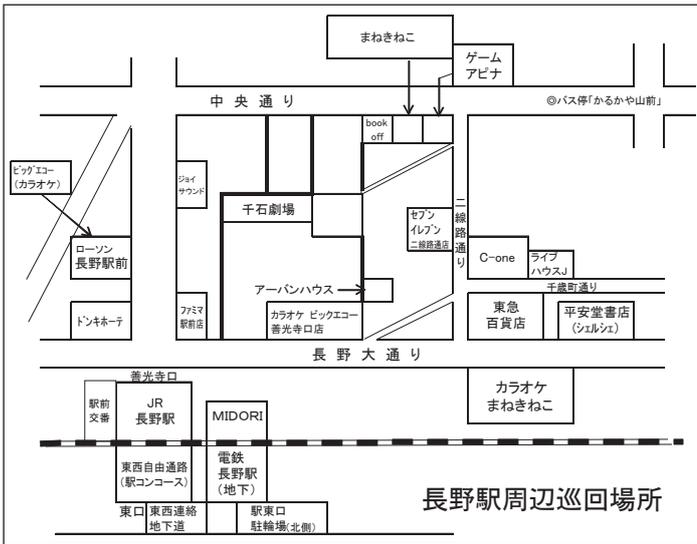
「一日少年育成委員」を終えて

一日少年育成委員は、小・中・高のPTAの方々及び職員、市民の有志の方に、一日だけ少年育成委員として、巡回指導を体験いただくものです。今年度は、計4回、13校、のべ28人の方々に参加いただきました。

① お店の巡回では

① お店は、オーナーまたは店長など、売り場責任者の方に、委員証や腕章を示し、人数を伝え、日頃の感謝をお伝えして、入店の許可をいただいでから巡回しました。

② 巡回が終了したら改めて責任者の方に



長野駅周辺巡回場所

感謝を伝え、営業の迷惑にならぬよう、夜間や近隣など、最近の子どもたちの様子(成人雑誌、認証確認、酒タバコ購入、万引など)、青少年のトラブルなども尋ねてみました。散らかり具合、お店の周辺などを確認しました。



長野駅前巡回の様子

一日少年育成委員を終えての感想

・土曜日ということもあり、西口の駅前周辺のお店は賑わっていました。子どもたちだけで2〜3人のグループが多かった。子どもたちの興味をそせるようなお店も多く、充実している印象。ゲームセンターや店内に子どもたちが多かった。巡回を普段からしていたいただき感謝だなあと感じました。

・長野駅周辺の街頭指導の体験をさせていただきました。こういう機会がないと全然知らないこともあり、大変勉強になりました。コンビニでの性的雑誌などの配置も大分配慮され、カラオケやゲームセンターでも店員さんの配慮などしっかりされてきている点もよかったです。

立入調査より

コンビニ店から雑誌類がなくなりつつあります。



書籍類がなくなったコンビニ店

コンビニ店の系列店の情勢や地域の状況、店舗の事情によっては、雑誌類の数が減ったり、雑誌類を置かなくなったりしていました。また、長野市青少年保護育成条例に有害図書類として規定されているような成人雑誌もかなり少なくなりました。各店舗には、高額なお札やカードをもって買い物に来たり、夜おそく来たりする子どもへの声掛けや商品によっては年齢確認をお願いしています。



青少年健全育成協力店 ステッカー

★困ったら…困る前に★ 『青少年の相談』は

少年育成センターへ
(相談専用ダイヤル)

電話 228-8588
月〜金曜日 8時30分〜17時15分
※匿名でOKです

教材DVDをお貸しします

授業、研修にご利用ください
スマホの安全な使い方教室
(SNSのトラブルに) (23分)



他に個人情報、詐欺の話です。
申し込みは
(少年育成センター)まで
電話 228-8547

編集後記

今年、立春が過ぎたあたりから連日雪かきになりました。ありがたいことにセンター周辺では、近所の皆さんが朝早くから歩道の雪もかいてくれます。あまり知られないことですが大変ありがたいことです。最後に、一年間ありがとうございました。来年度も引き続きよろしく願います。